

No	質問内容	回答
1	スーパーシティ聞こえは良いですがコストはどうなるのでしょうか？	スーパーシティに指定された場合、様々なデータを収集・加工して、各システムで利用できるようにするための「データ連携基盤」を整備する費用については、国がその整備費を負担する予定です。
2	財源はどちらにあるのでしょうか？	その他の先端的なテクノロジーを活用した事業についても、各省庁がこれまでのスマートシティの取組みを進めるために用意した補助金等の活用を想定しています。 ただし、これらの整備費や補助金などは永続的なものではないので、サービスの運営費を捻出できる持続可能な経済循環の仕組みも、あわせて考えていく必要があります。
3	スーパーシティで、果たして私たちの生活が豊かになるのか、疑問です。個人情報をもとめて掌握されるだけなのではないでしょうか？	情報の提供・開示には、「自分のこの情報を提供してもよい。」と合意できるもののみを、目的を限定して情報提供を行う「オプトイン」とデータをとることが前提で、同意しない場合は申し出る「オプトアウト」の考え方があります。 「オプトアウト」は、日本では受け入れられにくいものと考えており、鎌倉市がスーパーシティ・スマートシティに取組むにあたっては、「オプトイン」の考え方を中心に進めていくことを考えています。「オプトイン」は、データを提供する代わりに、自分に何らかのメリットが帰ってくるという制度設計が必要となるもので、例えば、自分の健康診断のデータを提供することで将来の疾病リスクや自分にあった体質改善プログラムの提供を受けることができるといったものなどです。 情報の取扱いについては、どの様なまちをつくるのか、そのためにどの様なデータ、テクノロジーを活用するのか、そして何を実現し、どんなメリットがあるかなどを丁寧に話し合いを重ねていくことが大切だと考えています。この様な視点にたつて、皆様の大切な情報が適切かつ安全に管理運用されるルールづくりをしっかりと進めてまいります。
4	スーパーシティもよいかもしれないが、ロードプライシングやパークアンドライドなど交通の施策で先進とされたものが結局引き続き検討中となっていると思う。鎌倉市は先進的だが、他自治体に先駆けてマンパワーをかけて挑戦したからには着実に実現をしていただきたいと感じる。	スーパーシティの指定によりテクノロジーやデータ、さらに規制緩和を効果的に活用することで、本市の抱える防災、観光・交通、超少子高齢化などの課題を包括的かつスピーディーに解決することができると考えています。特に御質問にありますロードプライシングは、これまで技術的・制度的な課題の抽出とともに、その解決策の検討を進めてきましたが、現時点では解決に至っておりません。このため、先進的な技術の提案、規制改革等が可能となるスーパーシティに提案を行うことで、実現を目指していきたいと考えています。 スーパーシティの提案にあたっては、これまでの検討で得た知見を活用し、実効性のあるものにしたいと考えています。
5	スーパーシティ構想では、AIにより市民生活を管理できると聞いています。監視社会である中国では、スーパーシティ化が進んでいるようですが、一方でカナダのトロント市では、住民がメリット・デメリットを知ることによって市民の怒りにより、中心的な企業が撤退したとも聞いています。特区指定を目指すのであれば、市民にメリット・デメリット、および、連携事業者の選定プロセスと提案内容、構想への関わりを明らかにしてください。	スーパーシティの指定によりテクノロジーやデータ、さらに規制緩和を効果的に活用することで、本市の抱える防災、観光・交通、超少子高齢化などの課題を包括的かつスピーディーに解決することで、誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会が早期に実現できることがメリットであると考えています。 一方で、デジタル社会の進展により、享受できるメリットに格差が生じないよう、いわゆるデジタルデバイドに対して丁寧に対応する必要があると考えています。 また、ご懸念が寄せられる個人情報についても、皆様の同意に基づく収集と利用をする「オプトイン」の考え方を原則にしながら、皆様の大切な情報が適切かつ安全に管理運用されるルールづくりを進めていく必要があると考えています。 今回選定した連携事業者は、本市の課題の捉え方や個人情報の考え方、さらにこれまでに事業の実績など所定の書式を事業者から提出を受け、庁内の選定委員会にて選定したものです。今回選定した事業者は、本市のスーパーシティの考え方に共鳴し、課題解決に向けて一緒に取組むパートナーとして、国に提案する本市のスーパーシティの提案内容の作成に御協力をいただくことや、提案内容への具体的な事業の記載をすることを想定しています。 なお、今回選定した連携事業者は、あくまで事業者の候補であり、仮に本市がスーパーシティに指定された場合には、改めて国がサービスを提供する事業者を選定するとのことです。
6	鎌倉市がスーパーシティの戦略特区になると、市民は皆マイナンバーカードを持たなくてはならなくなるのですか？スーパーシティの戦略特区は鎌倉市全域で考えているのですか？特定の地域限定で考えているのですか？	スーパーシティに指定された場合にも、市民の皆様が必ずしもマイナンバーカードを持たなくてはならないとは考えておりませんが、今後マイナンバーカードは免許証や健康保険証のほか、スマートフォンなど様々な個人認証やテクノロジーとの連携が検討されているため、デジタル化社会における本人確認の中心的な役割を担うのではないかと考えております。 また、スーパーシティの区域の考え方については、市内のどこか特定の地区ではなく、鎌倉市全域を対象とすることを考えています。

7	<p>技術者であり、スーパーシティ構想には賛同する立場ですが、目指す姿があまり理解されていない面もあるので、鎌倉市が取り組むことになった経緯についてしっかりした説明を用意すると良いかと思えます。</p>	<p>総合計画をはじめ、これまで様々な行政計画策定の過程を通じて、本市の将来都市像について市民の方々と議論を重ね、その共有に努めてまいりました。スーパーシティは、この将来像を実現するための手法と位置付けています。</p> <p>引き続き本市の将来都市像、目指す姿等について、市民の皆さんと議論を重ね、特に政策形成過程をわかりやすくお示しできるように努めてまいります。また、ご指摘の取組の経過や理由については、わかりやすく、丁寧な説明に努めてまいります。</p>
8	<p>鎌倉市が考えるスーパーシティの目指す姿を具体的に説明してほしい。</p>	<p>説明会では限られた時間ではありますが、現在、市が考えているスーパーシティにより目指すまちの姿、その基礎となる理念等について、具体例を交えながらわかりやすく説明するようにいたします。</p>
9	<p>3月1日の市議会総務常任委員会で竹之内課長が答弁されましたが、やりとりを聞いていても具体的な内容が掴めませんでした。もっと具体例を出しながら詳細を教えてください。</p> <p>また年配者は「ウェルビーイング」などカタカナ語はピンと来ないのでわかりやすい説明をお願いします。</p>	<p>また、国の進めるスーパーシティへの採択の可否に関わらず、今後、まちづくりは、データやテクノロジーの活用、デジタル化の推進が中心になると考えています。本市は、受動的にこれを受け入れるのではなく、能動的にこれらを活用し、目指すまち（社会）の実現に取組んでいきたいと考えており、本日をスタートに、さらに市民の皆さまと次世代のまちづくりについて、議論を深めていきたいと考えています。よろしく願いいたします。</p> <p>昨今カタカナ語をはじめ、聞きなれない言葉が飛び交うようになってきましたが、できる限り分かりやすい言葉で言い換えるなど、多くの方に御理解いただけるよう工夫をしております。</p>
10	<p>七里ヶ浜を中心とした海岸の浸食が激しく、自然景観が崩れようとしている。</p> <p>鎌倉市にとって自然景観の保護は重要課題と考えているが、今後どのようにこれらを進めようとしているのか、考えをお伺いしたい。</p>	<p>近年、鎌倉を含めた相模湾岸の海岸の浸食が深刻であり、海岸管理者である神奈川県も「これまでの状況変化を踏まえ、養浜を中心とした対策をさらに進めていく」としています。</p> <p>今回のスーパーシティの取組みでは海岸の浸食対策への直接的な対応は予定していませんが、スーパーシティの検討を進める上で、自然環境と私たちの社会活動の共生、SDGsの推進は、大きなテーマと捉えています。</p>
11	<p>鎌倉ならではの観光資源、自然の保護など先進的な新しい取り組みに興味があります。</p>	<p>豊かな自然景観は、先人から連綿と受け継がれてきた鎌倉が誇るべき重要な資源です。自然環境の保全と災害対策・渋滞解消など、これまでは両立が困難だと考えられてきたことも、テクノロジーを活用し、果敢にチャレンジすることで、鎌倉らしさを次の世代に確実に継承できるよう取組んでまいります。</p>
12	<p>オンライン説明会にそもそもアクセスできない高齢者の方々へはどのように対応されるのでしょうか。</p>	<p>当日の様子を録画したDVDメディアの貸出や、要約した資料をお渡しするなど、オンラインに接続できない方々へも、できる限り当日に近い内容をお伝えできるようにしてまいります。</p>
13	<p>野村総合研究所の跡地の鎌倉市の計画、東海道線の村岡駅市役所の移転など様々なことを報道がありませんままに進んで決定しているのではないかと残念に思います。</p> <p>税金を多く使われることもあり、もっと普通の市民にも早く早く知らせてください、説明してほしいと常に思っております。スーパーシティ、スマートシティなどの言葉も初めて知りました。広報鎌倉にも早くから解説などお願いしたいと存じますゴミ処理の場所の問題もなくなったようでその報道も不足と感じました。知らないうちに大きな問題が、決まっているような感じがします。もっと一般普通の鎌倉市民に知らせる方法をお願いいたします。</p>	<p>市民の皆様が情報がしっかりと届いておらず、大変申し訳ございません。</p> <p>これまでも、市のホームページや広報かまくらをはじめ、SNSなど様々な媒体を活用して、市民の皆様へ情報をお伝えできるよう努めてきましたが、より早く、そして丁寧にお伝えできるよう、「伝える」から「伝わる」広報となるよう工夫をしております。</p> <p>特に政策形成過程に市民の皆さまに参加していただくことが非常に重要と考えており、早い段階からの広報・広聴により一層注力いたします。</p>
14	<p>当日参加ができるかわかりませんが鎌倉市は地域によって、問題点や抱える悩みが違うと思いますので、できれば地域毎に重点課題と解決策の意見交換がされると嬉しく思います。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、同じ鎌倉市であっても、お住いの地域によって抱える問題や課題は様々ですので、今後の市民対話などでは、市全体として取組んでいく部分だけでなく、地域の課題や実情に合わせて取り組んでいく部分にも焦点を当てて議論を深めていきたいと考えています。</p>
15	<p>どこかの企業に委託されて進めるのでしょうか？</p>	<p>スーパーシティの構築は、市が進めるもので、計画策定にあたって一部コンサルタントの支援を受けていますが、どこかの企業に任せて進めるということはありません。スーパーシティの選定を受けた場合、個々の課題解決に対しては、様々な技術をもった事業者等と共創関係を構築（事業委託も含む）し、取り組むことになります。</p>

16	<p>一言でスーパーシティと言っても、地域にあった形があり、どこかの事例をそのままマネするものではないと思います。鎌倉では【古都】や【観光】がキーワードになるのではと想像していますが、どのようなコンセプトでスマートシティを融合させる考えでしょうか。</p> <p>一方、上に書いたキーワードだけですと、市民生活が取りおかれてしまいます。ゴミ焼却施設問題や市役所移転など、スマートシティのコンセプトの中でどのように絡めていくのでしょうか。</p>	<p>スーパーシティは、本市が目指す「誰もが生涯にわたって自分らしく安心して暮らせる共生社会」の構築を目指すもので、そのために必要な課題解決にデータやテクノロジーの力を活用しているというものです。</p> <p>具体的には、急激に進行する人口減少・少子高齢化とそれに起因する諸課題、激甚化する災害対策、交通渋滞・オーバーツーリズム対策、行政サービスの電子化をはじめとするデジタル化の推進などに取組んでいくことを考えています。市役所の移転やゴミ焼却施設については、行政サービスの電子化をはじめとするデジタル化の推進の分野で、今後、検討を深めていきたいと考えています。</p> <p>なお、スーパーシティへの取組みにあたっては、快適性や利便性のみを追求するのではなく、鎌倉がもつ地域特性、自然環境はいうまでもなく、鎌倉市民の意識の中に綿々と受け継がれてきた、自然環境や歴史的背景との共生感や、日本人固有の価値観など、目にみえない価値も大切にしています。</p>
17	<p>下記課題について、対策されるかを知りたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理、焼却場の問題への対応 ・手広・深沢周辺の柏尾川氾濫や津波遡上に対する防災、減災に対するインフラ整備・データ連携 ・同地区から新駅アクセスのためのモビリティ整備 	<p>自然環境の保全と災害対策・交通（移動環境）の充実など、これまでは両立が困難だと考えられてきたことも、テクノロジーを活用し、果敢にチャレンジすることで、鎌倉らしさを次の世代に確実に継承できるよう取組んでまいります。</p>
18	<p>クルッポを使えるお店を増やして欲しい</p>	<p>クルッポ（SDGsつながりポイント）は、鎌倉市が運営する地域通貨で、コインの流通を通じて、SDGsへの意識醸成、人やコミュニティ等とのつながりの創出、さらには、その可視化を通じて、地域課題の解決や地域経済の活性化、SDGsの達成を目的としたものです。</p> <p>その目的達成に向け、できるだけ多くの方々にお使いいただけるよう、行政だけでなく、市民・NPO、店舗、事業者等、鎌倉のまちに関わる全ての方々を活用・導入を呼び掛けているところです。引き続き、皆さまが使いたくなるような魅力的なアプリになるよう、店舗の皆様にも導入に向けた協力をお願いしてまいります。</p>
19	<p>先ずは、どんなものなのかを伺いたいです。どうぞよろしく願っています。</p>	<p>ありがとうございます。限られた時間ではありますが、現在、市が考えているスーパーシティにより目指すまちの姿、その基礎となる理念等について、わかりやすく説明するようにいたします。</p>
20	<p>楽しみにしています。</p>	<p>また、国の進めるスーパーシティへの採択の可否に関わらず、今後、まちづくりは、データやテクノロジーの活用、デジタル化の推進が中心になると考えています。本市は、受動的にこれを受け入れるのではなく、能動的にこれらを活用し、目指すまち（社会）の実現に取組んでいきたいと考えており、本日をスタートに、さらに市民の皆さまと次世代のまちづくりについて、議論を深めていきたいと考えています。よろしく願っています。</p>
21	<p>鎌倉市は市民との距離が近いと伺いました。特区認定という素晴らしい機会を逃すことなく、鎌倉モデルを創り、誰もが輝けるまちにしたいという想いを一市民ながら抱いています。それを横展開できたら最高です。今回のウェビナーではまずは方針をお聞きしたいですが、今後、ボランティアで市民と市政をつなぐ何かに関わることが出来れば嬉しいです。</p>	<p>市政への参加・まちづくりへのコミットに関するコメント、ありがとうございます。これまでの長い歴史の中で培ってきた鎌倉の市民力の高さは、スーパーシティへの挑戦にあたっての大きな推進力となるものと確信しています。</p> <p>今後、市民の皆様をはじめ、本市に思いを寄せる方々とともにまちづくりを進めていけるよう、現在アーバンデザインセンターのような組織づくりも検討しております。是非、鎌倉の未来に思いを寄せる皆様と、新しいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしく願っています。</p>

※質問の一部は編集し、類似の意見はまとめて掲載しています。